

令和6年度地域医療介護総合確保基金（医療）提案事業						
No.	提案団体名	新規・継続	事業名	事業概要	実施状況	総事業費(円)
1	神戸市北区医師会	新規	退院時における精神科・一般医の連携モデル事業	1. リエゾン事業 一般救急病院における精神疾患(認知症を含む)への対応困難事例について、精神科リエゾンチーム（医師・看護師等）の人的資源の応援により対応力強化を目指す。今年度は、新たにリエゾン事業に関わった精神科医等の退院前カンファレンスへの参加を目指す。 2. リエゾン事業における連携会議 リエゾン事業関係者による事例検証。	【事業内容】 1. リエゾン事業 ① 済生会兵庫県病院とありまこうげんホスピタル、② ひょうごこころの医療センターと真星病院、③ 甲北病院と向陽病院、④ 有馬温泉病院と向陽病院 以上の病院間においてリエゾン事業を実施。 2. リエゾン事業における連携会議 令和7年1月25日に実施。事業を実施した7病院を含め16名が参加。各病院の症例発表を行った。 【事業成果】 1. リエゾン事業 合計7回実施し、20件の症例を扱った。今年度、新たに有馬温泉病院が参加。ただ、退院前カンファレンスにリエゾン事業に関わった精神科医等の参加を目指したが、事例がなく実現しなかった。 2. リエゾン事業における連携会議 令和7年1月25日リエゾン事業実施機関7病院を含め16名が参加。リエゾン事業を実施することで、患者が落ち着いたり、病棟スタッフに余裕ができ、特に薬剤調整のコンサルを受けることで、患者も落ち着きスタッフも対応力が向上したとの報告を受けた。	439,800
2	神戸市東灘区医師会	継続	「東灘区在宅NST推進研究会」の推進と活用	神戸市東灘地域における「食」に関する諸課題（摂食嚥下機能低下、口腔ケア、栄養ケア）に対して、医療・介護分野の多職種が連携し調査・研究や教育・啓発活動などを推進するとともに、在宅で活かせる体制づくりを進める。 ①在宅NSTの活動を行っている専門家を招いての講演会の開催 ②「東灘区食支援連携ツール」特に「食支援サマリー」の普及を目指した活動 ③「東灘区食支援連携ツール」の改善と改訂版の推進 ④東灘区在宅NST活動の効果的な普及啓発の推進 ⑤研究・運用成果を学会発表などで「東灘モデル」として全国に情報発信する ⑥東灘区内で在宅NST活動ができる体制作り（事務局体制の構築と運営）	【事業内容】 1. 東灘区在宅NST推進会議の開催 2. 在宅NST研修会 3. 各団体や事業所へのうめえプロジェクト活動普及啓発（研修会） 4. 「食支援連携ツール」冊子の改訂 5. ホームページ「東灘区在宅NST推進研究会 うめえプロジェクト」の活用 6. うめえプロジェクトの活動の普及啓発 【事業成果】 ○目標 1. NST推進会議における課題抽出と対応策の協議（定例会議、運営会議、その他班会議） 会議開催回数：定例会議11回、その他の会議10回 2. 講演会・普及啓発研修会参加者：80人 3. 令和6年度の研修動画（YouTube）閲覧数：500人以上 4. 学会発表 5. 食形態アンケートを神戸市内、他市にもご協力いただき、広範囲の食形態マップを完成させる。改定した食支援連携ツールをホームページにも掲載し、神戸市内での普及啓発に努める （1）アンケート配布150か所、60%の回収を目指す（2）ホームページでのデータダウンロード数：200件以上 ○成果 目標1～4は、目標値を上回る成果を得ることができた。結果、食支援サマリーは少しずつではあるが普及してきている。うめえプロジェクトの認知度も年々上がってきている。このまま継続して活動を行い、区内だけでなく神戸市全体の在宅の食支援を進めていきたい。5の食形態アンケートは、回収率が40%と目標値を下回ったが、内容を精査していると、新たな課題が見えてきている。今回のアンケートにお答えいただいた施設から、「自分の施設の形態と学会分類が一致していないことに気づいた」、「トロミのつけ方が間違っていたことに気づいた」など、自施設の食形態を見直す機会となったとの声をいただいた。現在、細かい調整に時間を要しているため、今年度の冊子印刷はできなかったが、次年度早期に、より良い冊子が完成できる予定。アンケートから見えてきた課題を検討し、次年度の活動に活かしていく。また、学会発表などを通して当プロジェクトの認知度が上がり、「東灘区が食支援に力を入れている」との声も聞かれるようになっている。特に、医師会が主導しているプロジェクトであることが好評を得ており、今後も普及・啓発に努めていく。	141,233
3	神戸市歯科医師会	新規	神戸圏域における多職種連携の強化、地域包括ケアシステム拡充のための取り組みとしての小児在宅歯科医療の推進	神戸市歯科医師会の医療的ケア児在宅訪問診療で訪問診療による口腔機能管理を行い、口腔機能の悪化を防止し良好な成長発育を促す。加えて後方支援体制としての神戸市立こうべ市歯科センターや市民病院機構と連携可能な体制を整備する。	【事業内容】 在宅の医療的ケア児を訪問し、適切な口腔機能管理を行い得る歯科医師育成、及び専門的知識・技能を有する歯科衛生士教育のための費用と関連資料作成。医療的ケア児、家族及び医療的ケア児にかかわる多職種の方々に対する在宅における口腔機能管理説明用リーフレット等の作成をし、市民向けにホームページを改変した。 1. 委員会 地域医療介護総合確保基金臨時委員会2回開催（R6.4.25、R6.6.18） 2. 小児医療在宅（訪問診療）に関する事業 小児医療在宅事業のアンケートを送付（重身父母の会・こども病院）案内チラシを作成しこども病院へ配布。9区会員へ小児医療在宅登録医のアンケートを実施。 3. 小児医療在宅に関する研修会 令和6年度小児医療在宅研修会（R6.10.5、場所：三宮センタープラザ西館） 演題：「医療的ケア児在宅訪問を30年余りしてきた経験から」 講師：医療法人村内科医院 院長 村内光一 参加者：24名 【事業成果】 在宅の医療的ケア児の訪問歯科口腔健診等を行い、歯科疾患の有無、口腔機能を把握し必要な対象に早期の口腔機能管理介入を行う事で口腔機能の悪化を防止し、良好な成長発育を促した。	430,246
4	神戸市東灘区歯科医師会	継続	在宅療養者に対し低栄養予防の管理指導を行える人材の育成事業	栄養士や言語聴覚士を講師に迎え、歯科医師・歯科衛生士を対象とした栄養指導や嚥下リハビリに関する研修会を開催する。	【事業内容】 医療安全講習会（令和6年10月、19日、場所：東灘区医師会館） 演題：「症例から見るクレーム対策」 講師：後藤 康（兵庫県歯科医師会 医療安全対策常任委員会副委員長） 池田 彩子（兵庫県歯科医師会 医療安全対策常任委員会 委員） 内容：実際に委員会で議論した症例を基にクレーム対策を検討する。	44,000
5	神戸市東灘区歯科医師会	継続		食支援につながる嚥下機能の評価と口腔機能管理を行う際に必要な知識を得るための研修会（歯科関係者→歯科関係者）を実施する。	【事業内容】 東灘区歯科医師会 令和6年医療保険講習会（R6年11月、9日、場所：中華会館 東亜ホール） 演題：「令和6年歯科診療報酬改定」 講師：井上俊治（兵庫県歯科医師会 医療保険常任委員会副委員長） 大倉賢郎（兵庫県歯科医師会 医療保険常任委員会委員） 内容：令和6年度の診療報酬改定についての説明。訪問診療での改定や運用について重点的に説明を頂いた。	35,000
6	神戸市東灘区歯科医師会	継続	在宅療養者への嚥下機能評価と口腔機能管理ができる人材育成	多職種を対象とし、食支援につながる嚥下機能の評価と口腔機能管理を行う際に必要な知識を得るための研修会（歯科関係者→多職種）を実施する。	【事業内容】 ○在宅歯科医療推進センター ・設置窓口：吉川歯科医院 ・対応時間：月～金 9：00～12：00 14：00～18：00 ・対象地域：神戸市、近隣地域 ・各連携機関との調整窓口：連携先 神戸市東灘区医師会、東灘区薬剤師会、甲南医療センター ・在宅歯科医療機器の貸出：ポータブルユニット・レントゲン・エンジン ○多職種との連携事業等実施内容 ・東灘区在宅NST推進研究会（10回） ・東灘区次世代医療人材育成コンソーシアム（4回）等	264,000
7	神戸市東灘区歯科医師会	継続	特定疾病を有する在宅療養者に対し歯科診療・口腔機能管理を行える人材育成	特定疾病を有する在宅療養者に関する知識を外部講師（医療職・介護職の方）から学ぶための研修会を歯科医師・歯科衛生士に対して行う。	【事業内容】 訪問診療座談会（令和7年2月4日、Zoom配信） 演題：令和6年歯科診療報酬改定と訪問診療相談会 講師：松岡 由輝啓（東灘区歯科医師会 地域医療委員会委員） 吉川 博康（東灘区歯科医師会 地域医療委員会理事） 内容：令和6年度の診療報酬改定についての情報提供。訪問診療での困りごとの相談を受け、委員が回答する。	79,000
8	神戸市東灘区歯科医師会	継続	在宅療養者の口腔管理・栄養管理を要する在宅歯科医療推進事業	施設職員を対象とし、認知症などを有する在宅療養者の口腔機能に応じた食支援・栄養指導のできる人材育成を目的とした研修会（歯科関係者→施設職員）を行う。	【事業内容】 介護支援専門員の資質向上のための研修会（令和6年11月21日、東灘区役所） 演題：災害時の口腔ケアについて～能登地震での経験から実践的なお話～ 講師：藤家恵子（小林歯科医院 院長） 内容：災害時における口腔ケアの重要性と実際に経験した事を基に避難所や被災施設での口腔ケアについて実際に使用した道具を紹介しながら講演した。 参加者：ケアマネジャー14名、サービス事業所職員2名、あんしんすこやかセンター職員15名、歯科医師4名	45,000